

2014年をシンボルイヤーに「瀬戸内・松山構想」を掲げ、さまざまな目標を実現した松山市。次のシンボルイヤーとして掲げた2017年もいよいよスタートした。

野志克仁・市長に2017年の松山市の観光施策を聞いた。

— 次のシンボルイヤー 携して四国デステイネーリーに掲げた2017年がはじまった

野志 2014年は瀬戸内海国立公園指定80周年、道後温泉本館改築120周年、四国八十八ヶ所霊場開創1200年の3つが重なる年としてシンボルイヤーに設定した

様々な事業を展開し一定の成功を収めた。2017年は、まず子規・漱石の生誕150年。また関連する施設として「坂の上の雲ミュージアム」が開館10周年を迎える。併句甲子園や「International Ph

10月には、えひめ国体が開催。8年1月には第

2016年の状況

野志 16年の道後温泉本館の入浴客数が81万414人（前年比3.3%増）となり12年ぶりに80万人を突破した。

アート事業や「瀬戸内・松山構想」が奏功した。道後の宿泊客数は96万1066人（2.9%増）で15年ぶりに90万人台を回復した15年を上回ったことも嬉しい。

会場は道後温泉およびその周辺エリア。メインアーティストである山口晃氏は第4回岡本太郎記念現代芸術大賞最優秀賞などを受賞している画家。是非お越しいただきたい。

JRとの連携では、インパウンド向けのきつぷる（愛媛県松山市）などで存12天守でもある松山城の登城道や石垣を光の散歩道にした。来場者には、イルミネーションの鑑賞だけでなく、各スポットでの記念撮影も人気

その後のアワードキャン

道後温泉本館は元気にか 2016年も好調な入浴

「街歩き旅の介」道後温泉の巻」山口晃 道後アートは2月28日に会期は終えるが作品は17年8月末まで公開されることになった。

国内向けでは、瀬戸内・松山構想を具現化した商品として発売されている「松山・広島割引きっぷ」は好評につき発売の協力を得て、広島冬の

（愛媛県松山市）などで存12天守でもある松山城の登城道や石垣を光の散歩道にした。来場者には、イルミネーションの鑑賞だけでなく、各スポットでの記念撮影も人気

を約140万球の光で彩り、今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。

会場は道後温泉およびその周辺エリア。メインアーティストである山口晃氏は第4回岡本太郎記念現代芸術大賞最優秀賞などを受賞している画家。是非お越しいただきたい。

JRとの連携では、インパウンド向けのきつぷる（愛媛県松山市）などで存12天守でもある松山城の登城道や石垣を光の散歩道にした。来場者には、イルミネーションの鑑賞だけでなく、各スポットでの記念撮影も人気

を約140万球の光で彩り、今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。

会場は道後温泉およびその周辺エリア。メインアーティストである山口晃氏は第4回岡本太郎記念現代芸術大賞最優秀賞などを受賞している画家。是非お越しいただきたい。

JRとの連携では、インパウンド向けのきつぷる（愛媛県松山市）などで存12天守でもある松山城の登城道や石垣を光の散歩道にした。来場者には、イルミネーションの鑑賞だけでなく、各スポットでの記念撮影も人気

を約140万球の光で彩り、今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。

会場は道後温泉およびその周辺エリア。メインアーティストである山口晃氏は第4回岡本太郎記念現代芸術大賞最優秀賞などを受賞している画家。是非お越しいただきたい。

JRとの連携では、インパウンド向けのきつぷる（愛媛県松山市）などで存12天守でもある松山城の登城道や石垣を光の散歩道にした。来場者には、イルミネーションの鑑賞だけでなく、各スポットでの記念撮影も人気

を約140万球の光で彩り、今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。今年で10回目を迎える。